

精誠団結 В духе единства
 Im Geist der Einigkeit
 Dans un esprit d'unité
 Con espíritu de unidad
 一体性の精神で
 Im Espírito de Unidade
 I ånden av enhet
 -Isirtu tal-Għaqda
 في روح الوحدة
 U duhu zajedništva
 ด้วยความเป็นอันหนึ่งอันเดียวกัน
 Birlik Ruhuyfa
 Katika roho ya umoja
 כרוח האהדות
 W Duchu Jedności
 Semangat Dalam Kebersamaan
 باروحية اتحاد
 ਏਕਤਾ ਦੇ ਸਮਝੇ 'ਚ
 Unio di Unita!
 Hengessä

Join Us!
IN THE Spirit OF
Unity
WCNA 34

amében
 perpaduan
 ຄວາມເປັນ
 Kwenye Umoja wa Kiroho
 Sa Diwa ng Pagkakaisa
 आत्मियता भिन्नको एकता
 Be andinet menfes

In this issue

- ◆ As sick as our secrets
- ◆ Zé Caldhino
- ◆ Service System Project
- ◆ 2010 NA Literature Survey
- ◆ Invest in Our Vision

1-4 September 2011
San Diego, California



NA Wayマガジン 予約購読最新情報

(注: 日本語版はNA日本のサイトまたはNA公式ホームページで読むことができます。印刷して紙版にさせていただくこともできます)

世界中で読まれている
ナルコティクス アノニマスの
定期刊行物

エディター
ド・ジェンキンズ
コピー・エディター
デイヴィッド・ファルク
プロダクション・マネージャー
ファティア・ピロルト

NA Way ワークグループ
ポール・C、アラン・D、マーク・G、
ステファニー・V、スー・H、ティム・S

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジン では、読者のみなさんが参加されるのをお待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールド サービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせください。

NA Way マガジン は、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジン またはナルコティクス アノニマス ワールド サービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されてはいない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.orgにeメールをいただきたい。

NA Way マガジン(The NA Way Magazine: ISSN 1046-5421)、NA Way(The NA Way)、ナルコティクス アノニマス(Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社(19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311)によって、年に4回発行される。

昨年の7月号と10月号でお知らせしたように、NA Wayマガジンでは予約購読に関するいくつかの重要な変更があり、その手続きが行われてきた。それ以前にこちらに記録管理されていた送り先に自動的に郵送されるのは、10月号が最終号となった。これに対して多くの仲間が、紙版予約購読の再登録やインターネット版の予約購読の手続きをしてくれた。みなさんがこんなに素早く対応してくださったことに感謝している。

これで、メンバーもグループもサービス委員会もそれぞれが必要に応じて、インターネット版または紙版を定期的に受けとることができる。わたしたちはNAの資金を無駄にしないように努力しているところなので、インターネットによる定期配信は節約のし方としては素晴らしいものだ。だがそれと同時に、読者のなかにはインターネットにつながらない仲間や、英語のホームページに不案内な仲間もけして少なくはないということもよく理解している。NA Wayはこれからも、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語に翻訳されることに変わりはない。そうやってわたしたちはずっと、NA Way を通して情報を伝えていきたい。むしろ、そういう気持ちでいるからこそ、現在の経済状況ではもっと経費のかからない方法を見つけないわけにはいかないのだ。

もともとインターネットによる定期購読をしていた場合には、ひきつづきNA Way が配信される。紙版のNA Way を読んでいた場合は、インターネットによる定期購読か、(紙版の方がいいと思われるなら)紙版による定期購読の再登録か、いずれかの手続きをする必要がある。さらに、メンバーやグループ、あるいは委員会をはじめとするサービス機関などがNA Way を何冊も必要とする場合には、一括して予約購読を申し込むことができる。紙版、インターネット版、いずれで読むにしろ、www.na.org/subscribe で手続きができるようになっている。何冊か一括して予約購読を申し込む場合には、上のサイトにあるリンクをクリックするか、fsmail@na.org へeメールを送っていただきたい。

みなさんがインターネット版を予約購読することによって配送費用が減れば、そのぶんNAの資金を他のことに使えるのだ。こちらとしては、そのつもりでお願いしている。しかも、インターネット版には、紙版では読めない内容や特集記事が追加されている。変更には折り合いがつくまでにはどうしても時間がかかるものだから、それは今回の変更でも同じだと思っている。だから、この情報はぜひ、グループやサービス機関の仲間たちと共有していただきたい。みなさんのご協力と、NA Wayマガジンを自分のことのように考えてくださることに感謝している。

わたしたちは回復の道を歩みながらNAの原理を学んでいく。今回の予約購読に関する変更にも、今月号にも、その原理の多くが反映されている。慎重さ、責任、自分を受け入れること、ねばり強さ(根気)、謙虚さなど、数えあげればきりが無い。

ド・J (エディター)

今月号の掲載記事

特集記事
・伝統を受け継ぐエチケット 3
サービスシステムプロジェクト 9
「私たちの未来像に投資しよう」10
わかちあい
Living Clean Project Update 12
「物」と「もの」 5
グループ紹介 13
自分について考えること 6
Calendar 14
役に立つということ 6
ユーモア
・本当のことを、 『ゼ・カルディンホ』 15
心おきなくわかちあいたい 7
お金の問題: NAの経済的自立 16
・名もなき神 7
NAWS Product Update 17
・足を運ぶこと 8

NA Way マガジン では、読者のみなさんからの便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ。



伝統をうけつぐ エチケット

先日の夜、ホームでミーティングが始まるまでのわずかな時間に、私は席についてしんみりと物思いにふけていた。そうして、自分がNAにつながったばかりのころはどんなふうだったかと、ずいぶん昔のことに思いをめぐらせていた。初めて参加したのは夜のミーティングで、人数が多かった。80人を超えていただろう。ミーティングが始まってから終わるまで、まさに金言ともいべき回復にまつわる知恵が次々とわかちあわれていた。そのなかでたびたび、元気な笑い声が上がった。1度や2度ならまだしも何度となくつづくと、人の話を聞くのにはちょっと邪魔な感じがした。今でもこういう邪魔が入ると、私はイライラしてしまう(あるいは、つられて笑ってしまったりすることがある)。それは、そのとき「自分の意識がどこに向いているか」にもよるのだろう。

このことをじっくり考えていたら、最初のスポンサーのよく響く声^{ひびく}がパツと意識によみがえった(これは、別にめずらしいことではないが)。このスポンサーはおそらく、私が出会ったなかでもっとも威厳のある教師だった。「伝統をしっかりうけついできた」人であり、だからこそ、私はこの人をスポンサーに選んだのだ。その時点で20年のクリーンタイムがあり、デンとして動じることがなく、自分のスポンサーから手渡されたメッセージをよくわかちあってくれたものだ。それから、ふたりしてほとんどあがめるような口調で、そのメッセージを手渡してくれたスポンサーについて語り合い、そして話しはさらに、何年も前にクリーンでこの世を去ったグランド スポンサー、つまりそのメッセージを最初に伝えてくれたメンバーのことに及ぶのが決まりようになっていた。

私は、ミーティングのエチケットについてスポンサーが伝えてくれたことを思い出した。そのときに身につけたエチケットは、今でも何とかして守ろうと努力している。最初のころは、とにかくトラブルに巻きこまれたくないという思いから、一も二もなく、このようなエチケットを守るようにした。それが今では、自分から望んで守っている。そうすればうまくいくことがわかっているからだ。それも、ミーティングで毎回のようにはいつかふたつ、エチケット違反をやらかしていたからこそわかった事実だ。回復していくなかでは、いつだって学ぶべきことがあるものだ！ どんときも新しくつながった仲間のことを思いやり、みんなが心をひとつにしてNAに共通の福利を尊重すること。エチケットによって教えられたのは、そういうことだった。(それが、ひとりのアディクトからもうひとりのアディクトへと、現在まで伝えられている)

NAで示されるものは
提案の類^{たぐい}である。
そんなことは、
昔から
わかりきっていた。

- ◇ ミーティングが始まるまでには、席についてくつろいでいること。
- ◇ やむをえない理由がないかぎり、最後までミーティングに参加すること。ミーティングの途中で帰る場合には、“人が話している最中に席を立てはならない”(それが新しい仲間だったりすると、自分の話を聞きたくないからだと思ってしまいうだろう)。かならず、わかちあいをしている仲間が話し終わるのを待つこと。これほど重要なことはない！
- ◇ 途中で席を離れて戻ったときや遅れてきたときには、後ろの方で立ったまま仲間の話を聞き、“話しが終わってから”席につくこと。
- ◇ 自分の話をするなんて死ぬほど怖くて、一言しか話せないとしても、指名されたら話すこと。そうすれば、ほかの仲間も思いきってわかちあってみようとするだろう！
- ◇ ミーティングの最中に、隣の仲間にどうしても話しかけなければならない場合には、小声でそっと話すこと。(自分につながったばかりのときに、みんながひそひそ話しているのをどう感じたか、忘れてはならない)
- ◇ 仲間がわかちあっているのに、携帯でメールを打ったりゲームをしたりするなどでのほかで、無礼きわまりない。

そして、「チェアパーソンを務める」(司会や進行役をする)ときにも、伝統的なエチケットがある。

- ◇ ミーティングのわかちあいに入るときには、かならず、力強く前向きな話しをする仲間にトップバッターを務めてもらうようにすること。

- ◇ NAのミーティングに初めて参加した人がいるかどうか尋ね、ファースト・ネームを教えてください(初めて参加した人のほとんどは、「アディクトとして自己紹介すること」や「アディクトであると認めること」がどういふことなのかわかっていないからだ)
- ◇ よその街から訪れている仲間がいるかどうか尋ね、ミーティングの途中で話しをしてもらう。よそから訪れた仲間たちは、なにかしら新鮮な話しをしてくれるものだし、ホームから遠く離れていてもこうしてわかちあえることで孤独感が癒される。
- ◇ できれば、男性と女性を交互に指名してわかちあってもらふこと。
- ◇ 知らない仲間にも、わかちあいを願うこと。
- ◇ 自分が一番恨んでいる仲間にわかちあいを願う。そうやって人間ができていくのだ!
- ◇ 個人より原理が優先することを忘れてはならない。自分の好きな仲間ばかり指名しないこと。
- ◇ ミーティングのお終りには、出席者のなかで一番クリーンタイムの長い仲間や説得力のあるメッセージを運んでくれる仲間に、わかちあいを願う。

なんとも、至れり尽くせりではないか。これがNAのこれまでの道であり、こうしていまもつづく道なのだ。この道を、みんなで踏みしめながら大事に歩んできた。それで、うまくいく。こうしてNAで示されるものは提案の類であり、取り入れるのも無視するのも自由だ。それは昔からわかりきったことだった。だからむしろ、飛行機から飛び降りるときにパラシュートを開くひもを引くという指示もまた、ただの提案にすぎないということを、つねに思い出すことにもなった。つまり、提案というのはいつだってそんなふう

に適切なものなのだ!
私には現在、スポンサーが数人いる。それぞれにスポンサーがいて、さらにまたそれぞれにスポンサーがいる。NAでは、スポンサーシップのつながりとして知られているもので、このつながりのなかにはメンバーをリカパリーブラザー(兄弟)、グランドスポンサー(おじいちゃん)などと、家族になぞらえることが珍しくない。このようなつながりは、驚くほど心の支えになるものだ。こんな仲間がいればこそ、回復にともなう数々の試練もむしろ乗り越えがいのあるものになってきた。私たちは、力を合わせてクリーンで生き抜くしかないのだ。だからNAでは、かつて自分たちに示された提案が、今のメンバーたちにも同じように伝えられている。それによって今日だけ、NAのなかでも社会のなかでも、私たちはクリーンでいながら実りある人生を送るのだ。たいしたもんじゃないか!

ナサニエル・M(オーストラリア／ゴールドコースト)
オーストラリアのNAで発行されている雑誌、『NAトゥデイ』の許可を得て転載



Madrid's NA growth



In Madrid, a city of some four million, we have just 100 or so members and seven groups (three which started last year). NA works here; people get clean, stay clean, and they do service, but growth has been slow during our quarter of a century here.

However, there are signs that this is changing. For example, ten newcomers who were referred to NA by a professional recently attended a local NA meeting. This is probably due in large part to the World Convention in Barcelona (2009) and the convention-related public relations efforts of a professional PR firm in conjunction with the local support committee. In Madrid, we have used that impetus to make contact with treatment agencies. This effort is beginning to show return and we even have commitments from important government treatment agencies to send their professionals to our open meetings to check us out.

To help gauge the results of our PR work, Madrid groups now compile anonymous referral source information, and we are conducting a member survey. We will use the survey data to provide professionals with information about our program and our presence in the community. The survey will also be a tool for us to measure our growth.

It is just possible that the tide is turning in NA's favor in twelve-step-wary Spain, but to making that happen requires huge doses of follow-up, patience, and persistence. This can be taxing for a small NA community, but maybe, just maybe, we're beginning to get there.

Nicolas J, Madrid, Spain

「物」と「もの」

わたしはものごころついたときからずっと、「物」にしがみついていた。それは、いつだってすごく重要なことに思えたのだ。そういうわたしの価値基準にはゆがみがあったようだ。このことを自覚するようになったのは、リラプスして入院しているスポンシーを見舞って、話しているときだった。この若い女性は家からの立ち退きを迫られていることもあり、自分の持ち物の処分をわたしの手にゆだねた。わたしなら安心して決断を任せられると思ったのだ。そして、持ち物といってもがらくたにすぎないし、そんなものに命をかける価値はないといって泣いていた。この女性は降伏していたのだ。これだけは、自分で決断するしかない。だれかに代わってもらうわけにはいかないのだ。それから3週間かけてこの女性の持ち物を全部より分けつつも、私はこれほどの信頼を受けとめかねていた。

わたしに託された要望は、ほんのわずかしかなかった。だからこそ、わたしは仲間たちにも協力してもらい、みんなでなんとかそのささやかな要望に応えようとした。こうして、この女性の人生をつなぎ合わせていたものはちりぢりになってしまった。身の回りにあったものの大部分は、もう二度とふたたび目にすることはないだろう。そのいくつかはわたしたちの家に収まり、いくつかはホームレスの手に渡った。使える人がいればもらってもらい、最後にはゴミ箱に投げ入れられた。かわいがっていた猫にはもう絶対に会うことはない。この猫は、新しい家に移り住むことができなかった。病気で、肝臓がだめになっていたのだ。だからといって、安楽死させるという決断はそう簡単に下せるものではなかった。

だれかのスポンサーになるということは、NAのステップによって導いていけばそれですむということではない。回復しようと努力するもうひとりのアディクトから、信頼される人間になることを意味するのだ。何もかもがだめになってしまったときに、事態の收拾にあたることだってあるからだ。そしてまた、相手のために心をくだいても、迷惑がられ、報われない、キツイ仕事をするということでもある。そのような状況ではとてもひとりでやりきれないので、ハイヤーパワーの導きを求めることになる。愛が行動にあらわれるとすれば、まさしくそういうことだろう。

このスポンシーである若い女性を手助けするのは、まったくばつの悪いことだった。助けを求められたとき、わたし自身が人生の混乱の真ただなかにいたからだ。けれども、自分自身の成長に必要なものも、それがどれほど重要なのかも、あとになってみないとわからないということがよくある。わたしは今回のことで自分のことをよく理解するようになっていった。それはとりもなおさず、自分にとって何が重要なのか、仲間のためにどんなことをする用意があるのか、そして自分のために何をやるつもりなのかを理解することだった。スポンサーシップには、友情が欠かせない。友情なくして、どうやってだれかと親しくなれるというのか。スポンサーシップは、ふたりの人間のあいだに親密な関係を築くものでもあるのだ。

わたしは、親密な関係がうまく築けない。どうしても信頼感がもてないのだ。この若い女性は神を信頼するとともに、わたしをも信頼してくれた。わたしは、その勇気と信じる心に励まされた。このプロセスを通して導いてもらうために、わたしも神を信頼してみようという気にさせられたのだ。そうして、わかった。信頼することができないばかりに、長い間わたしの手から奪われていたものがあったのだ。それは、自分の歩むべき道を知るために欠かせないスピリチュアルなコンパス(羅針盤)だった。わたしは、もうひとりのアディクトのために存在して、事態の收拾にのぞみしなければならないことをする

という機会が、自分に与えられたことを感謝する。こうして、神がわたしにどのような人間であってほしいと望んでいるかということや、そうなるだけの「もの」がもともとわたしには備わっているということについて、多少なりとも学んだのだ。

ベティ・C(アメリカ合衆国/マサチューセッツ)



自分について 考えること

ボクは自分の権利なら、どんなときも自信をもって主張できる。回復に対する権利、この椅子に対する権利、幸福に対する権利、というぐあいだ。それが、ボクはアディクトになったおかげで、自分が負わされてしかるべきことがつねにウンザリするほどあるというのに、いざ、自分がひとりの人間としてなすべきことは何なのかとなるとイマイチあやふやで、こうだと断言できたためしがない。

それでも今のボクは、原理にそった生き方をする責任があると気づいている。だから、ひとつひとつの状況や感情に対してワンパターンのような行動で反応したりせず、思慮深く、内省的な生き方をする必要があるのだとわかっている。自分の行動が、他人にも

ボクはもう アディクションの 哀れな犠牲者ではない。 新しい人生を切り開く 責任者になったのだ

自分自身にもさまざまな影響を及ぼすのだということ、心にとめておかななくてはいけない。自分のすることには、自分が責任を負うのだ。そんなこと知ったこっちゃないとは、もう考えたりはしない。

そしてボクは、12のステップを踏んでいくことによって、自分がどういう人間であるかを決めるのは自分の行動にほかならないということに気づくようになった。恐怖を感じてもいい。それでも、勇気をもって行動することはできる。そういうということがようやくわかった。だから、興味もてなくてもやると決めたらきちんとつづけていくことはできるし、欲求を感じても自制心や我慢強さを身につけることはできるんだ。

今のボクの行動を決めるのは、感情ではなく、原理だ。ここでいう原理とは、ナルコティクス アノニマスの12のステップにまとめられているものだ。このNAの原理はただの言葉や考えに終わらせてはならないと、ボクは理解している。それぞれの原理が大きな影響力をもち、その影響がいつまでもつづくためには、ボクが生きていくうえで行動に表れるようにならなければならないのだ。

だからといって、ボクは苦悩を知らないわけではない。苦しんでいるに決まっているじゃないか。ボクは、あいかわず不平不満だらけの自分勝手なつまらない男だし、自分を幸せにしてく

れようとしないうちに腹を立てて許せないでいる。そうやって、自からみじめになろうとしているんだから、こういう自分を変えるのはまさしくボクの責任だ。

そしてボクはもう、アディクションの哀れな犠牲者ではなく、新しい人生を切り開く責任者になったのだ、と自覚している。つまり、自分のすることでこれからの人生が決まるのだ。ボクはようやく、そういうことをしっかり理解できるところまで来たのだとわかっている。だからもう、自分の失敗や過去を他人のせいにしたりする必要はないし、犠牲者を演じたりする必要もない。それも、自分が変わることができるからだ。

今のボクは、このような生き方を選んでいられる。それも自由に選んでいるのであって、リラプスを恐れているからじゃない。そうすることによって、自分のためにも他の人々のためにも意味と価値のある人生、そんな生きるに値する人生を、ぼくは築いていけるからだ。

ケビン・V(カナダ/オンタリオ)

役に立つ ということ

これはNAにいて私なりに理解するようになったことだが、私たちの多くは無関心な態度を身につけてからNAにやってくるので、自分が無関心であることに気づくまでかなりの時間がかかる。私たちは、ものごとを当たり前のことと考える世界で生きているからだ。その結果、ものごとを何でもわかりきったことと受けとめてしまう考えが身に染みついてしまう。だが、そういう私たちのなかには、いくつもの苦難を経験してようやくこの考えをぬぐいさろうという気になり、NAのステップにある原理を本気で生かしていく者もいる。私たちはミーティングに出て、仲間と話し、いくつものステップを実践してさえいれば、自分はプログラムをやっていると考えられるのだが、それでは、自分がNAプログラムをもっと多面的にとらえようとしていないということには気がつかない。だから、せつかくNAのサービスシステムに積極的に関わるようになって、なぜ自分が燃え尽きてしまい、逃げ出したくなるのかを理解できないのだ。

私たちのなかには、回復のために十分やってきたのだから、これからはNAでのんびり楽しくやればいいんだという態度をとるようになる者もいる。NAでは、こうやって自己満足におちいたら危ないといわれている。私たちに、正当化がさまざまなかたちで現れるからだ。それで、自分たちはNAの役に立ってきたし、「助けてもらった借りは返したんだ」と言ってはばからないこ

ともある。そうでなければ、12番目のステップには『私たちは……人生のあらゆることにこの原理を実践する』と書かれているのに、このことをあえて考えないようにしてしまう。そうかと思うと、サービスにとことんのめりこみ、人生のことまで手が回らなくなってしまったあげく、サービスのせいで自分たちはだめになったと言ったりする。

私は、自分より先に回復の道を歩みはじめた仲間たちによって、NAプログラムとはどういうものかを理解するようになった。要するに、ミーティングに出席すること、スポンサーをもって一緒にプログラムをやること、NAの原理を生かすこと、NAの役に立つこと、この4つを日々の活動としてつづけていくものなのだ。NAにつながってもそんなことをするつもりはないというメンバーがいたら、回復というNAによってもたらされる人生を新たな気持ちで生きるようにと、みんなで愛情をもって励ませばよい。必要とあれば、そういうメンバーたちの前途を祝福する。こうして私たちは、NAになじめない仲間たちを離れたところから思いやることと、NAでしっかり活動している仲間たちと心をつとつにすることを学ぶのだ。そして、ほかの仲間のしていることが気に入らないという場合には、自分の経験をわちあってお手本を示してあげればよい。たとえ相手がその通りにしてくれないことでもがっかりしても、経験をわちあうことは無駄ではないと、スポンサーのおかげで理解できるようになった。

ナルコティクス アノニマスは、私の家だ！ 私は、ここで生きている。だから、家族がお互いに役に立とうとすれば、みんなでナルコティクス アノニマスのプログラムを丸ごと体験できるのだと知ってもらいたい。このプログラムはだれでもできるのに、やる人がかぎられていたら、やれる人はますます少なくなってしまうからだ。私は、自分に新しい生き方を示してくれたNAのために役に立とうとしてきた。私は心底からクリーンでいたいと願っているのだから、日々、このNAプログラムと呼ばれる生き方をし、NAで果たすべき責任をまっとうしていこうという気持ちになるのだ。こうして私がほかの仲間たちに問いかけることはひとつ残らず、私自身への問いかけでもある。それによって私は、回復の道で迷うことなく、NAこそ私の住処だということを忘れないでいられるのだ。

ブライアン・E
(アメリカ合衆国/カリフォルニア)

本当のことを、 心おきなくわちあいたい

わたしはNAにつながってから25年間、クリーンで回復の道を歩んできた。スポンサーが1人いて、スポンシーも1人いる。ミーティングにはほとんど毎日出て、12のステップにも取り組んでいるし、祈りと黙想も欠かせない。サービスと名のつくことならまずどんなことでもやってきた。H&I(病院施設)委員会を立ち上げることも、新しいミーティングをはじめたことも、何度か経験した。回復のためなら、わたしは何だってする。

ただ、わたしはアディクションのほかにも「躁鬱病」という重い精神障害を抱えていて、ときどき、まったく何もできない状態になってしまう。使うようになる前からさまざまな症状が現れていた。そういう自分から逃げることを試みるうちに、クスリにはまっていた。わたしは精神障害者であるという事実と向きあうことができなかった。もちろん、使ったからといってよくなるわけではない。症状はひどくなるばかりで、病院に入院させられるようになり、病院生活がわたしの人生に欠かせないものになった。

クスリに溺れるようになって16年が過ぎたころには、本気で自殺を試みた。そして翌日にはまたもや、精神病院に入院した。1985年5月2日のことで、それがわたしのクリーンのはじまりだった。ここにきてはじめて、自分にはクスリの問題があることを病院のスタッフに対して認めため、わたしは5日後に、AA(アルコールクス アノニマス)のプログラムによる回復病棟に移された。そして最初の外出許可が与えられた日にNAミーティングの会場に直行し、ミーティングが終わるころにはすっかりはまっていた。

でも、それですべてが解決したわけではない。クリーンになってもまだ精神的には病んでいたからだ。躁鬱病は今のところ、アディクションと同じく治癒しない進行性の病気で、自殺による致死率がきわめて高い。薬物治療によって症状はいくぶん軽くなるのだけど、わたしはNAミーティングに出席していた。NAでは回復のなかで薬物治療を受けることに関する見解が広くゆきわたっていたため、このことをミーティングで話すわけにはいかなかった。「アディクトは、正直にならなと回復しない」としても、このことは秘密にしなければいけないような気がした。

クリーンになって2年目には秘密にしていることがとても心苦しくなったため、医師の同意を得てわたしはいったん薬物治療をやめた。治療を中止していた7年間のあいだには、2度の結婚

生活をだめにした。大きな事業を始めたものの、とんでもない躁状態によって経営はほとんど破綻した(それでも、個人破産を申し立てて救済された)。仕事を3回クビになり、多くの人を傷つけた。このほかにも、2回にわたって重い鬱状態を経験した。そのうちの1回では、財産管理人によってあやうく精神病院に長期入院させられるところだった。それでもわたしは、NAの仲間たちには言えないと思った。どうしようもなく孤独だった。

薬物治療を再開して状態はよくなったけれど、治りはしなかった。それ以来ずっと、わたしは舞い上がったり落ち込んだりして、それがとても激しくなることもある。クリーンになって23年目には、苦しい時期を経験してから躁の状態になり、それにつづいてこれまでの人生で最悪の鬱状態がやってきた。わたしは3か月のあいだに4回入院して、3度の自殺未遂をくりかえし、1度などはもう少しでうまくいくところだった。仲間たちはわたしが入院していることを知っていたけど、だれも電話をくれなかったし、見舞いにも来てくれな

かった。スポンサーには、精神障害のことはまったくわからないので助けにはなれないと言われた。人生でもっともつらい時期のひとつだった。わたしは、自分のエリアのNAから完全に見放されたと思ったが、それでもわたしのハイヤーパワーは一緒にいてくれた。そして、やっとのことでなんとかミーティングに戻っても、わたしに近づこうとする仲間はほとんどいなかった。ふたたび歩みだすには、並大抵の苦勞ではなかった。

わたしがこんなことを書いているのは、重い精神障害があるために同じアディクトとして扱ってもらえないことに疲れてしまったからだ。精神をわずらうのは、ガンや糖尿病を抱えているようなものだし、C型肝炎だって同じだ。精神障害のあるNAメンバーたちは、人の見ていないところではわたしと話すけれど、こういう病気ゆえに拒絶されることや差別されることに対する恐怖を堂々とわちあうことはない。だけど、あえて言わせてもらおうが、精神障害は伝染病ではないのだ。

わたしの住んでいる地域のNAで、これから状況が変わるのかどうかはわからない。ただ、精神に障害がありながら回復の道を歩むアディクトはわたしだけではないのだから、そういうアディクトたちが、自分たちの回復に生じ

ていることを恐れることなく話したいときに話せるようになれば、どんなにいいだろうと思う。わたしたちは仲間のなかで一段劣っているわけではない。回復を求める気持ちはほかの仲間たちと変わらないし、プログラムだって真剣にやっている。わたしたちはみんな、神のはからいで生かされているのだから、クリーンでいるために支え合う必要があるのだ!

アノニマス

編集者記: 回復期の精神保健と、それに関係のある書物について詳しく知るには、改訂されたばかりの『イン・タイムズ・オブ・イルネス(病気のとき)』をご一読いただきたい。

名もなき神

俺は、もうこれ以上地獄を見るのはたくさんだと思ったときに、ハイヤーパワーによって回復している人々のもとに導かれた。みんなそこで俺がくるのを待っていたんだ。なぜかという、ハイヤーパワーによって最初にそういう気にさせられた人々がいて、その人々を支える者たちもそういう気になり、それでナルコティクス アノニマスをはじめとする12ステップ プログラムができたからだ。プログラムといってもこれは、シンプルな知恵、奥の深いスピリチュアリティ、そして人間というものについて現実的な理解を深めることにポイントがある。つまり、俺(だけでなく、みんなもだろ?)がまさにそういうプログラムの助けを必要とする日がやってくるのを、ハイヤーパワーはすでにお見通しだったというわけだ。そして、この12ステップ プログラムがうまくいく秘訣のひとつが、アノニミティなのだ。

アノニミティは「無名」(俺たちはフルネームを使わない)ということだが、それは自分の身元を明かさないとということでもある。俺たちはあくまで、自分の過去の行いやそれにまつわることを明らかにすることによって、自分の問題や解決の力になってくれる人々のことを話すのであり、それ以外のこと、つまり社会や家庭などNAとは関係のないプライベートな領域での地位や役割について話したりはしないのだ。俺たちがNA以外の場でどのような人物であろうと、そんなことはNAでプログラムに取り組みながら仲間とかかわるうえで何の関係もない。俺たちはみんな、アディクションという病気にかかっているということでは平等なんだ。アディクトがそういうことをわきまえる謙虚さを身につけることができるのも、アノニミティがあればこそだ。

だから、大物政治家であれ、一流スポーツ選手であれ、あるいは有名な俳優であれ、ミーティングにやってきたの

足を運ぶこと

なら、あくまでもひとりのアディクトとして接するようにしている。知名度に惑わされたりしないで、その人たちが悩みや恐怖や希望をわかちあう話しに耳を傾けるのだ。医者や心理学者、あるいは神父であっても、アディクションの問題を抱えているなら、まちがってもそんな仕事をしていくせにという目で見たりしないし、むしろ回復の道を歩む兄弟や姉妹であると考え。そしてもし、職場の同僚や友人、親戚の人などとミーティングで出会ってしまったら、どうするか。その人たちの過去の行いが良くも悪くも自分にある程度の影響を及ぼしたとしても、相手のアノミティを尊重することはできる。いずれにせよ、だれであってもその評判や、成し遂げたこと、ハレンチなふるまい、あるいはどんな連中とつきあっているかなど、相手のことですでに何かを知っているという目では見ないようにしている。そうしていれば、こちらのアノミティに対しても、相手は同じように尊重してくれるだろう。

このアノミティにまつわるもののなかでも、俺がものすごく心をゆさぶられるのは、自分の理解する神が名前を伏せてNAに参加しているってことだ。それもひとえに、アディクトの回復のためなんだ。過去に、俺たち人間が勝手に呼んでいた名前や敬称があったにせよ、ただのハイヤーパワーとなってNAプログラムに参加している。外部とのしがらみや交流を断ち、人々が押し付けたイ

「だれでもいい、頼むから、助けてくれ！」

メージや象徴もかなぐり捨て、いろんな団体が求めてきた専属契約もすべて破棄している。俺が理解しているハイヤーパワーは、そういう外部での評価ではなく、アディクトたちにどれほど役に立っているかで自分のことを判断してほしい、それが俺たち自身のためになるのだと謙虚に求めている。そうやって自ら手本となり、アノミティがどのようなものであるか、そしてそれがどれほど尊いものなのかを示してくれるのも、俺たちと一緒にNAに存在して、俺たちの回復に参加したいという一心からなんだ。

俺は落ちるところまで落ちてもうお終いだと思った瞬間、「だれでもいい、頼むから、助けてくれ！」と叫んでいた。もともと「神」という言葉には偏見があったため、NAにつながったばかりのころにはせいぜい「何らかのもの」と呼ぶのが関の山だった。それでも何年にもわたって回復の道を歩み続け、今では神とふれあえるようになった。仲間たちが神について語ってくれたことである程度までは理解できたのだが、自分で経験してそれがどういうことかをきちんと理解しなければ、神を見いだすことはできなかっただろう。NAにいるこの名もなき神は、俺にアディクションから抜け出す道を示してくれただけでなく、スピリチュアルな成長という日々つづく旅にもつきあおうという気持ちがあるのだ。

ベンジャミン・H
(アメリカ合衆国／カリフォルニア)

昨日、NAの仲間がひとり死んだことを知らせる電話があった。詳しいことはわからなかったが、電話をくれた仲間の口ぶりではどうやらアディクションという病気がからんでいたようだ。これで、2日もしないうちに2回も、仲間の死を知らせる電話があったことになる。ぼくは膝の力が抜けて、へたり込みそうだった。日本のNAではアノミティが「名前を明かさな

い」ことになっているため、ニックネームを使っているメンバーが多い。だから、死んだ仲間の名前はもうひとりの仲間に電話しなければわからなかった。だが、実際に名前がわかってみて、ぼくはあらためて気づいた。名前なんか、どうだっていいじゃないか。NAの仲間なら、NAの仲間でない。ぼくらはみんな大家族の一員なんだから。

そして、その日のうちに葬儀の連絡があった。警察の死体安置所でさやかな葬儀が行われることになり、参列者は祈りをささげて線香をたむけることができるということだった。ぼくは職場にいて、仕事も終わっていません。そこで、ぼくの代わりに焼香して、参列した仲間たちと死んだ仲間の家族によく伝えてほしいと頼んだ。でも、NAという家族のことを考えるうちに、やっぱり行くことにした。

空はどんよりと曇って暗かった。車を運転しながら、ぼくはあらためて気づいた。警察とはすっかりご無沙汰してたじゃないか。行かなきゃならない理由もなかったから。ぼくの警察を恐れる気持ち(これは、ちょっとやそつと恐怖じゃない)は、ほとんどなくなっていた。そして、丘を登ったところで、大きな明るい虹が雲間から光を放っていた。ぼくは笑いだすと同時に、泣きだしていた。

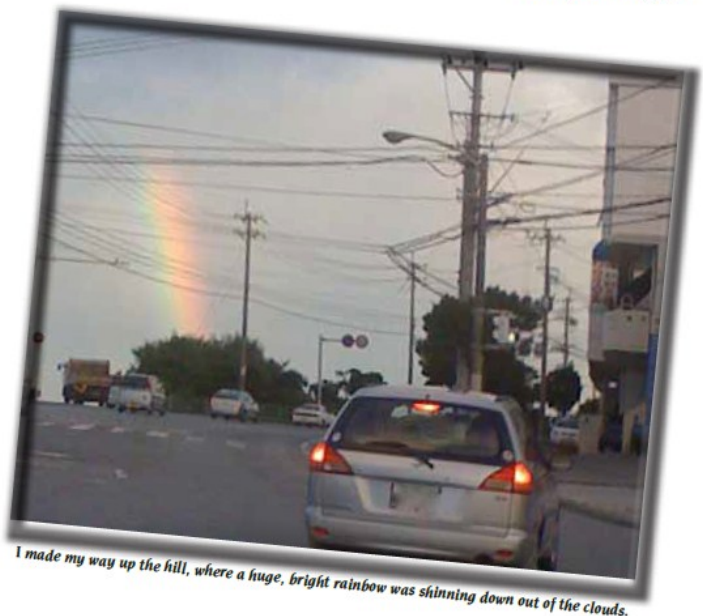
警察につくと、仲間がもうひとりやってくるころだった。ぼくはものすごく落ち着かない気分だったので、この仲間がいてくれたことにととても感謝した。仲間の遺体がある死体安置所は、警察署の奥のほうにあった。そこまで歩いて行くあいだ、ふたりともほとんど口をきかなかった。しゃべる必要もなかったからだ。安置所には、ほかの仲間たちも来ていた。ぼくの兄弟、ぼくの家族だ。ぼくは、NAという仲間の集まりがもつぎずなの強さを感じることができた。ここに集まった仲間の何人かは、単なる顔見知りにはすぎなかったとしてもだ。

どのみち昨日は、ひとりで向き合うなんてごめんだ。でも、ぼくはひとりじゃない。それが今はわかっている。クリーンであることも、とてもあり

がたいと思う。きちんと生きて人並みに浮き沈みを経験し、ひどく悔んで辛い思いもする。そういうことができるから、クリーンでいられるんだ。もちろん、すべてをなかつたことにできればいいのにと思わないわけではな

い。でも、あの場に足を運んで、葬儀に参列し、毅然としている責任がぼくにはあるんだ。だって、ぼくがみんなに頼っているときには、みんなもぼくに頼っているんだから。ぼくはそう思っている。

ケン・H(日本／沖縄)



I made my way up the hill, where a huge, bright rainbow was shining down out of the clouds.



サービスシステム プロジェクト 最新情報

ナルコティクス アノニマスでは、週に58,000回以上のリカバリーミーティング(回復をわかちあうミーティング)が開かれ、メンバーたちによってメッセージが運ばれている。それ以外にも実にさまざまな方法を用いることで、世界中のアディクトがNAによってうまく回復を見だせるようになりつつある。だが、それでも私たち

は、NAの基本的なサービスを提供するうえで悪戦苦闘をしている。これは、NAのサービス全般にわたってこれまでも何度となく出会ってきた試練であることに変わりはない。無関心、コミュニケーションのまずさ、人材や資金の不足というのは、今に始まったことではないからだ。

この4年にわたるプロジェクトは、2008年のWSC(ワールドサービス カンファレンス)で承認されたものであり、NAのサービスを総合的な視点でとらえながら、改革に向けてさまざまな選択肢を提案することを目的としている。その手始めに

まず、「NAのサービスにたくす未来」という理念を策定しなければならなかった。これは、NAのあらゆるサービス提供努力に対して重点を置くべきものとして、

2010年のWSC(ワールドサービス カンファレンス)により満場一致で承認された。このサービスシステム プロジェクトが目指していることは、すでにうまくいっているものも含めてNAのサービスシステムを全面的に改善すべく、アイデアを提供することである。

以上のような課題があって、2010年のWSC(ワールドサービス カンファレンス)では初めて改革案が出されることになった。この改革案は、サービスシステム プロジェクトのウェブページ [www.na.org/service system](http://www.na.org/service_system) からダウンロードすることができる。つまり、改革のための選択肢といっても、それについてひとつの

話し合いが始まったにすぎない。この改革案は、投票で決定されるべき動議ではなく、議論を尽くすべきアイデアなのだ。みなさんも以下を参考に、ぜひ話し合いを重ねていただきたい。

- ・ウェブページ([www.na.org/service system](http://www.na.org/service_system))を作成し、以下の内容を収めてある。
- ・改革案に関するレポート
- ・「NAのサービスにたくす未来」
- ・プロジェクトの最新情報と背景
- ・インターネットによる掲示板へのリンク
(<http://disc.na.org/service/index.php>)
- ・パワーポイントによる発表
- ・ワークショップのセッション プロファイルと配付資料
- ・スペイン語による資料
- ・プロジェクトに関する意見提供の書類

・これまでに、アメリカ国内で5回にわたるワークショップが開かれただけでなく、メキシコとホンジュラスでのリージョナル コンベンション、イスラエルでのヨーロッパ デリゲート ミーティング、トロントでのカナディアン アssenブリーなどでもそれぞれにワークショップが開かれ、今回の改革案について話し合いを重ねながら意見の収集が行われた。こうしたワークショップによって、世界各地のメンバーたちに改革の要旨が伝えられ、世界中のNAで開かれるさまざまなワークショップでメンバーたちが情報共有をできるようになった。

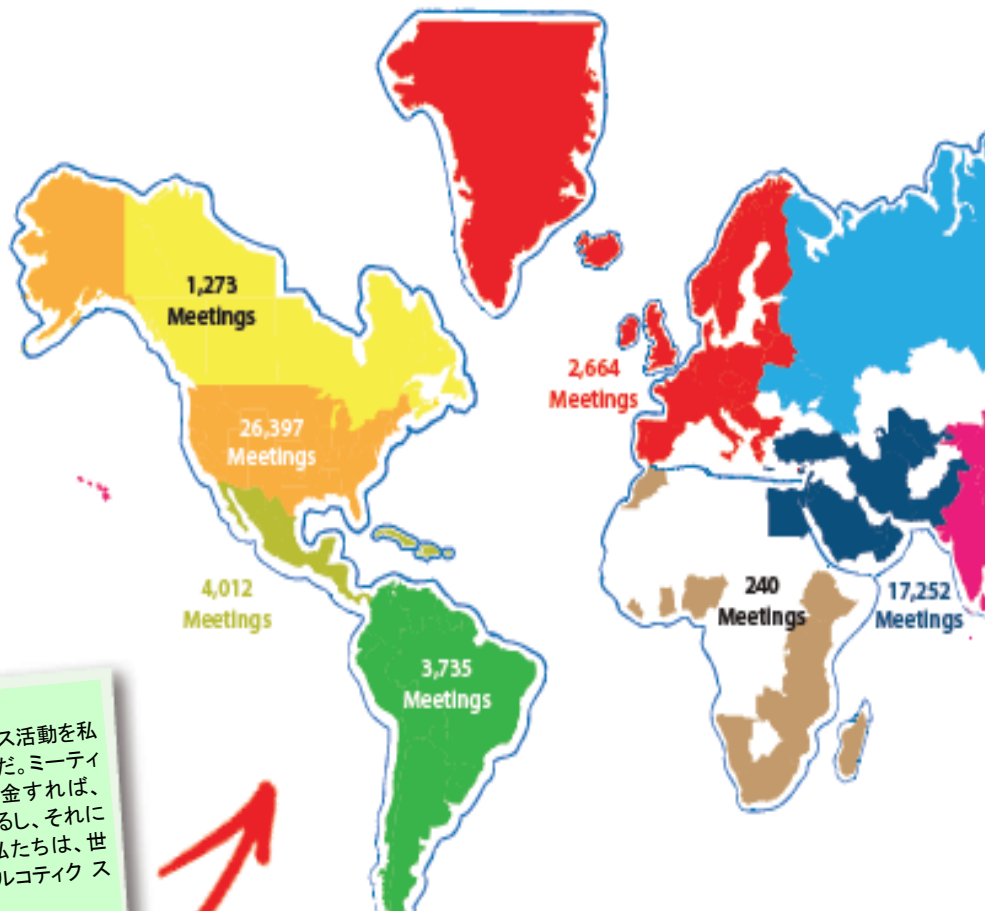
みなさんにも何か考えがあれば、いつでもお寄せいただきたい。ただし、第1回改革草案にかぎっての意見提供は、2010年12月31日で締め切らせていただいた。私たちは、こうして提供された意見を一度よく吟味したのち、この改革案を再公開するつもりである。その際には、コミュニケーション(情報伝達)、意志決定(方針決定)、企画立案、トレーニング(訓練)など、NAのサービス提供で要となる手順の一部についていくつかの新しいアイデアが添えられることになる。

ぜひご覧ください

www.na.org/servicesystem

プロジェクトの背景に関する全記録、最新情報、参考資料が掲載されています。

「私たちの未来像」に投資しよう



献金箱に集まるお金の使いみち
 NAの経済的自立とは、NAのサービス活動を私たち自身の力で支えるということだ。ミーティングにきちんと出席してきちんと献金すれば、ミーティングを滞りなくつづけていけるし、それによって助かるアディクトも増える。私たちは、世界に広がる仲間の集まりとして、ナルコティクスアノニマスを大切にしたい。

文献翻訳。
 文化や国の壁を越えてNAのメッセージが届くようにする。

文献をはじめとするさまざまな出版物。
 H&I(病院施設)が「中にある」アディクトに手をさしのべようとする活動に用いられる。

オンラインサービス。
 電話サービスがあれば、アディクトがNAにつながりやすい。

会場費や文献のほか、NAミーティングの運営に必要なものに使われる。

広報活動。
 NAの周辺地域でアディクトと定期的にかかわっている人々のあいだに、NAのことを広める。

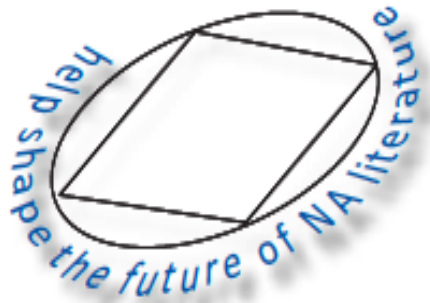
These are just a handful of the ways our money helps us carry the message.

みなさんの多くがすでに知っているように、2010年のワールドサービスカンファレンスでは「NAのサービスにたくす未来」という理念が承認された。私たちは、このような理念がかかげるいくつかの理想を、NA全体の役に立つことによってなんとか実現しようとしている。ワールドサービスではここ数年、世界的不況によってNA全体のためにできることに限界が見えてきたという現状をお知らせしてきたが、それでも私たちは、NAのあらゆるサービスに未来をたくして全力を尽くしていくことを目指している。だからこそ、こうして私たちが目指しているものに、NA全体の関心を集めたいと思っている。つまり、みなさんからワールドサービスに送られてくる献金は、NAという仲間の集まりの未来に投資されるものなのだ。

私たちのひとりひとりがNAの一員として惜しみなく与えるのも、自分たちの努力がNA全体の成長を助けていることを知っているからだ。私たちが力を合わせて努力する結果、NAはすくすく成長して活気のある仲間の集まりとなり、メンバーひとりひとりの回復を支えていく。だから私たちは、このような仲間の集まりのために役立つことに時間とエネルギーを投資する。それに対する見返りには何にもかえがたい値打ちがあるからだ。

そして、2010年のワールドサービスカンファレンスでは理念の他にも、新たに経済的な自立をテーマとする2種類のIP(インフォメーションパンフレット)が承認された。『マネーマターズ:セルフサポートインNA(NAの経済的自立)』と『ファンディングNAサービス(NAサービスに資金を提供する)』である。どちらにも、現実的なことが書かれている。私たちの未来像を実現するためには、時間とエネルギーを投資するだけでなく、財政面での投資も必要になるからだ。ナルコティクスアノニマスでは現在、世界の131を超える国々でミーティングが行わ

2010 NA Literature Survey



WE NEED YOU TO PARTICIPATE IN THE LITERATURE SURVEY!

This survey has been online at www.na.org/litsurvey since early October, and will remain available until 1 April 2011. Members can complete it online or mail/fax their responses to us. Please help us inform other members of this opportunity to provide valuable input toward the development of our recovery literature. We anticipate using the results from this survey during the scanning phase of our strategic plan for the 2012-14 cycle.

www.na.org/litsurvey



Living Clean: The Journey Continues

Thank you to everyone who took the time to read and share your input, ideas, and suggestions for "Living Clean: The Journey Continues." Our final review and input period for Chapters Six and Seven and the Preface ends 31 December 2010. The input you have given has truly made this book what it is: a collection of our experience, strength, and hope from across our fellowship. We have been factoring in the comments you made and revising the material, and look forward to presenting the approval version soon.

We would like to extend our gratitude to everyone who hosted workshops and reviewed the draft material. We have received input from a wide variety of locations, from Greece to Greensboro, North Carolina. Some of the workshops were hosted by area committees; some were organized by interested members arranging a time and space for others to review the draft materials together, and members have contributed individually as well. All of the input contributes to the creation of a book that reflects recovery as we experience it in Narcotics Anonymous.

The approval form of the book will be available in April 2011, as called for in the project plan. A reminder about approval form literature from *A Guide to World Services*: "Approval-form literature should not be read during NA meetings, although it may be sold and made available to members at NA meetings."

The motion to approve the book will appear in the *Conference Agenda Report* for consideration by the fellowship, and the actual vote regarding the book's approval will occur at WSC 2012.

Check the project page at
www.na.org/?ID=Living_Clean_Project
for the latest about the project.

格安航空料金

WCNA (NAワールド コンベンション) には以下のとおり、モンテローズ・トラベルによる特別往復航空料金が利用できます。

・アメリカ合衆国とカナダ以外の国からWCNAにやってくる旅行者には、最高15%まで割引になります。

・アメリカ合衆国内とカナダからWCNAにやってくる旅行者には、最高10%まで割引になります。

最大割引料金で行くなら、www.na.org でインターネットによる予約をしよう！



WCNA 34 参加申込書

名前	名字
住所	
国名	〒 (郵便番号)
Eメールアドレス	電話番号
同伴者	

パート1 - 参加登録

	人数	料金	合計金額
早期申し込み割引2011年3月31日締め切り		@79ドル =	ドル
事前登録 2011年7月28日締め切り		@79ドル =	ドル
現地での登録料は、99ドルの予定			
		パート1の合計金額	ドル

パート2 - オリジナルグッズ

数量制限なし。商品の注文は、4月30日までお願いします。期日を過ぎると入手できる数やサイズがかわりかねるため、早めにご注文ください。

商品	数量	値段	合計金額
特製コーヒーマグカップ ユニークなデザインによる限定版。「NAがひとつになる」ことを記念してつくられました。		@79ドル =	ドル
刺しゅう入りTシャツ (男性用) 黒。綿100%。クルーネック。前中央に刺しゅう。		@20ドル =	ドル
刺しゅう入りTシャツ (女性用) 3種類の糸を使用して、肌ざわりよく仕上げました。Vネック。前と後ろのすそに刺しゅう。		@20ドル =	ドル
プリントTシャツ 黒。綿100%。クルーネック。前左側にプリント。		@18ドル =	ドル
刺しゅう入りアウトドアシャツ 黒。柔らかなレーヨン製。すそは水平にカット。後ろに「WCNA/Spirit of Unity」をプリント。ボタンとトプバルは特製。		@75ドル =	ドル
男性サイズ S M L XL XXL			
男性サイズ XXXL		@80ドル =	ドル
女性サイズ S M L XL XXL			

パート3 - コンベンションのイベント (チケット販売枚数限定)

テーブル指定がすんでいれば、行列しなくてもいいし、友人たちと一緒に座れます。イベントの席は全部、参加登録の日付で決められます。

	人数	料金	合計金額
水曜 ディナー・ボート・ハーバー・クルーズ pm6:00-9:00息をのむほど美しいサンディエゴ湾をクルーズしながら、夕食とカバリー・ミーティング。		@ 65ドル =	ドル
火曜 ミッドナイト・ボート・クルーズ		@ 35ドル =	ドル
金曜ブルース・ランチョン 10人用テーブル指定による金曜のブルースランチョン		@ 45ドル =	ドル
金曜 コメディー・ショー (内容がかなりカゲキになるかもしれません)		@ 30ドル =	ドル
土曜 ジャズ・ブレイクファースト 10人用テーブル指定による土曜のジャズ・ブレイクファースト		@ 40ドル =	ドル
土曜 ナイト・コンサート		@ 75ドル =	ドル
日曜 サンディエゴ・パドレス (MLB野球) 1:05 pm 3塁側外野席指定		@ 35ドル =	ドル
ニューカマー・ドナーション			ドル
		合計金額	ドル

イベント情報

今回も、ちょっと足をのびて楽しめるようなイベントをご用意するつもりでしたが、料金が高く、こちらの予算内でおさまる金額ではありませんでした。サンディエゴ観光局から提供されたウェブページには、サンディエゴで楽しめる多くのスポットが紹介され、団体割引をはじめとする情報が掲載されていますので、ご参考にしていただければ幸いです。

www.meetmeinsandiego.com/WCNA

パート4 - 支払いの方法と金額

パート1 _____ドル + パート2 _____ドル + パート3 _____ドル
= 総計 _____ドル

USドルによる支払い方法 (Vを入れてください)

小切手 / 郵便為替 (註: 日本国内用のものは使えません)

AMEX VISA MASTER CARD DISCOVER DINERS CLUB

クレジットカードの番号 _____ 有効期限 (西暦で) _____ カード裏面の確認番号 _____

クレジットカード名義人の氏名 _____ 署名 (サイン) _____

クレジットカードによる支払いの制限もしくは拒否に関する一切の権利は、WCNAにあります。注文および予約申し込みの変更受付は、オリジナルグッズについては4月30日まで、参加申し込みとイベントについては7月28日までとします。この期日を過ぎた場合、キャンセル、交換、返金には一切応じられません。小切手または郵便為替 (註: 日本国内向けのものは使えません) は、振り出し先をWCNA 34と指定し、以下のアドレスへ郵送してください。WCNA 34, c/o NAWs, PO Box 9999, Van Nuys, CA 91409,

USAN Aワールドサービス社は、ここに掲載したホテル、予約センター、旅行代理店のいずれも提携の関係はありません。あくまでも、NAメンバーたちに割引きの料金設定をお知らせすることに同意するという契約を交わしたにすぎません。

WCNA 34

カリフォルニア、サンディエゴ

心をひとつにして (一体性の精神で)

THE Spirit of Unity OF

2011年9月1日~4日 一緒においでよ!



ホテル予約申し込み書

これは郵送またはFAXによる申込書です。ここに表記された料金は、7月28日以降に変更される可能性があります。インターネットによる予約申し込みなら、即座に確認がとれます。郵便またはFAXによる予約申し込みでは、確認の返事が届くまでに15日～30日かかります。

パート1 - 連絡先

名前 _____ 名字 _____
 住所 _____
 国名 _____ 〒 (郵便番号) _____
 Eメールアドレス _____ 電話番号 _____
 同伴者 _____

パート2 - 部屋の予約

次ページに案内があるホテルに予約していただければ、WCNAの企画も開催も順調に進めやすくなります。みなさんの協力で、WCNAをN Aならではの特別なイベントにしようではありませんか！申込書が届いた時点で、部屋が割り当てられます。第1希望がかなわない場合には、第2、第3の希望で割り当てられることになります。ただし、空き室が生じた場合には、部屋が追加されることになっています。最新情報を知るには、ウェブサイトをご確認ください。なお、部屋を1つ以上予約する場合には、この申込書をコピーして別に記入されるようお願いいたします。

第1希望 _____ 第2希望 _____ 第3希望 _____
 到着日時 _____ 出発日時 _____

特別な希望 喫煙の部屋 ADAが装備されている部屋
 (予約状況によって、ご案内可能)

部屋の種類 (シングル) ベッド1 / 1名または2名 (ダブル) ベッド2 / 2名
 (トリプル) ベッド2 / 3名 (クアッド) ベッド2 / 4名

私の希望する部屋が満室である場合には、シングルにして、私の希望するホテルのひとつに泊まれるようにしてください。

パート3 - 予約料金

各部屋に対しては、現金または小切手(註：日本国内用は使えません)で200ドルの予約金、もしくはクレジットカード使用可能金額の確認証明が必要とされます。これは、キャンセルの時点、あるいはWCNAの30日前に請求されます。ただし、予約をしたあとでは、どの時点でキャンセルする場合にもキャンセル料がかかることとなります(これは、現金または小切手による予約金から差し引かれるか、もしくは予約を取るのに使われたクレジットカードに請求されます)。金額については、以下の日程に基づいて計算されます。

2011年7月15日以前にホテル予約を取り消した場合には、50ドルのキャンセル料を請求。

2011年7月15日以降にホテル予約を取り消した場合には、200ドルのキャンセル料を請求。ここに署名(サイン)することによって、自分の予約内容を確認し、以上のホテル予約規定を読んで了解したことといたします。

署名(サイン) _____

USDによる支払い方法(✓を入れてください)

小切手/郵便為替(註：日本国内用は使えません) AMEX VISA MASTER CARD

DISCOVER DINERS CLUB

クレジットカードの番号 _____ 有効期限 _____ カード裏面の確認番号 _____

クレジットカード名義人の氏名 _____ 署名(サイン) _____

小切手または郵便為替(註：日本国内用は使えません)は、以下の振り出し先で指定し、以下の住所へ郵送。

WCNA/Conference Direct

1900 South Boulevard, #110, Charlotte, NC 28203

参加登録申込書のファクス送信先：704-927-1439

インターネットによる予約申し込み：https://resweb.passkey.com/go/WCNA34



どうして、事前登録をするのか？

なぜ事前登録をするのか？皆さんは疑問に思っているかもしれません。これまでは、事前登録をしないメンバーを受け入れるために、資金をあてて使わざるをえなかった。みんなの献金がそれだけ失われたのだから、イベントに登録が必要なものにしていくのもやむをえないだろう。イベントといっても、コンベンションセンターやドームで開催する場合と、ホテルで開催する場合とでは、かかる費用には大きな違いがあるのだ。

登録の料金は、今回のWCNA 34開催で実際にかかる費用に少しでも近づけようとしたのだが、残念なことにはまだその額には達していない。みなさんが、スペシャルイベントやオリジナルグッズの販売に協力してくれれば、足りない分を埋めることができる。そして、WCNAの成功に少しでも協力しようと、1月から3月のあいだに登録してくれるメンバーたちには、現地登録の金額より20ドルの割引をおこなう。4月から7月までの事前登録であれば、10ドルの割引とする。なお、現地登録で参加できる人数は、事前登録による空きがどれくらいあるかによって決まる。ただし、ニューカマードネーションによるビギナーメンバーの参加数は、少なくなってしまうだろう。

このようなわけで、みなさんにはぜひとも事前登録にご協力いただきたい。それによって今回のWCNAが実行しやすくなるのだ。みなさんがWCNAでチケット購入イベントに参加するにしても、事前登録をした日付ですでに座席が指定されている。そして木曜に行われるオリジナルグッズの販売も、この日付をみれば、その日にショップに入場できる。これは、現地登録の場合には金曜まで入場できない。

WCNAではほかにも、ダンスパーティが毎晩開かれる。そして、金曜の夜に行われるWCNAの特別フェスティバルは、ライブステージが楽しめる「コーヒーハウス」とも呼ばれている。これ以外にも、チケットの要らないイベントが盛りだくさんで、どれも登録料を払うことで楽しめるのだ。

さらに、今回もまた、大人1名に同伴で参加する13歳以下の子供たちのために、キッズ・バッグが無料で利用できるようにした。登録をしないでチケット購入イベントに参加する場合には、そのイベントの開始にあわせて建物に入場することになる。ナラノは、コンベンションセンターのなかではN Aと一緒に行動するので、参加登録票が別になる。また、ナラノの参加登録で建物への入場と各種ミーティングへの参加はできるが、チケットの要らないイベントや活動への参加にはN Aの参加登録が必要になる。

ホテルのご案内

ここにご案内するホテルのうち、マリオット・マリナー、マンチェスター・ハイアット、ヒルトン・ベイフロントでは、ホテルの敷地内にコンベンションのさまざまなイベントが行われることになっています。

ホテル名	シングル/ダブル (1人部屋/2人部屋)	トリプル (3人部屋)	クアッド (4人部屋)
1 マリオット・マリナー (街に面した部屋) マリオット・マリナー (港に面した部屋) コンベンション・センターに隣接。海辺の豪華ホテル。	185ドル 205ドル	210ドル 230ドル	235ドル 255ドル
2 マンチェスター・ハイアット マリオット・マリナーのとなり。海辺の豪華ホテル。	189ドル	214ドル	239ドル
3 ヒルトン・ベイフロント コンベンション・センターのすぐ隣。できたばかりの豪華ホテル。	195ドル	215ドル	235ドル
4 ヒルトン・ガスランプ コンベンション・センターの真向かい。ビジネスホテル。	159ドル	179ドル	199ドル
5 エンバシー・スイーツ ボリューム満点の暖かい朝食でおもてなし。全室スイートルーム。	169ドル	189ドル	209ドル
6 ホリデー・イン・オン・ザ・ベイ マリナー(波止場)とレストラン街のある通りの向かい。	125ドル	140ドル	155ドル
7 ホートン・グランド ベッド数1または2で、暖炉のある部屋。	149ドル		
8 インディゴ・ガスランプ 繁華街にあるモダンなビジネスホテル	145ドル	155ドル	165ドル
9 オムニ コンベンション・センターのはす向かい。野球場に隣接するホテル。	159ドル	170ドル	199ドル
10 ハードロック サンディエゴ中心街。ガスランプ・クォーター通り。おしゃれなビジネスホテル。	159ドル		



Picture this

NA Wayでは、さまざまなNAグループからミーティング会場の写真が送られてくるのをお待ちしている。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真をご遠慮いただきたい。なお、写真には、グループの名称、所在地および国名はもちろん、グループができてからどのくらい経つのか、ミーティングの形式、そして「うちのグループならでは」のことなど、グループの紹介文を添えていただくようお願いする。

Lost dreams

失われた夢

僕は、実家がパン屋をしていたので、幼くしてすでにケーキ職人になりたいと思っていた。だが、パン屋の仕事はケーキ作りだけではない。僕は、家の商売をひとつひとつ覚えていった。そして、僕も大きくなつたし、そろそろケーキ作りを教え込もうと父が考えるころには、

すでにクスリに溺れて奈落の底に落ち込んでいた。それから20年が経ち、クリーンになってちょうど7年が過ぎたあたりで(僕の理解する神とNAという仲間の集まりに感謝している)、ありがたいことにふたたびケーキ作りに興味がわいてきて、どうやらこうやら、自宅で作ったケーキを売る商売をこじんまりとはじめるまでになった。お客さんはほとんどが仲間たち。だから、僕はNAのお祝い事のために大量のケーキを作らせてもらえるってわけだ！その写真を、2、3枚同封しておいた。いつも、みんなを幸せな気分にしてあげられたら、と心をこめて作ってるんだ。



『メンバー紹介』

NA Way マガジンでは、この『ホームグループ紹介』欄によって世界各国のNAグループのことがよくわかるようになったこともあり、どうせなら、これからは『メンバー紹介』もしていきたいと考えている。そこで、自分も原稿を送ってみようかというNAメンバーがいると助かる。世界中のNAメンバーたちに、イラストや絵画、グラフィックデザイン、写真、キルト、編み物などで、自分のことを表現していただきたい。なにしろNAには、木工職人、彫刻家、折り紙作家、料理人、刺しゅう家、タトゥー(入れ墨)アーティスト、フラワーデザイナーなどをはじめとして、ありとあらゆるタイプのアーティストや職人たちがいるのだ。

ただし、NAのロゴが使われていれば、それでNAがイメージできるというようなものは求めていない。自分なりに創り出したものを送っていただきたいのだ。そうすればこちらで、NA Way の誌面がみなさんの創造性で埋め尽くされるように工夫を凝らしていく。だが、当然、NAの原理は優先される。アノニミティに反するような表現はもちろんのこと、政治や宗教がらみの作品もご遠慮いただきたい。なお、作品は高解像度写真にするか、PSD、IPG、EPSなどのファイルどくそうてき形式にして送られるようお願いする。ほかにもまだ独創的なアイデアがあれば、編集部にご連絡いただくか、naway@na.org 宛にeメールで投稿していただきたい。



カレンダー

Multi-day events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at: www.na.org/?ID?=comingup-toc. (If you don't have Internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or *The NA Way*; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Brazil

Parana 14-17 Apr; Brazil Sul Regional Convention 4; Praia De Encantadas, Ilha Do Mel; www.nabrasilsul.org.br

Costa Rica

San Jose 10-12 Dec; Costa Rica Regional Convention 14; La Campiña Country Club, Sabanilla; www.nacostarica.org

Denmark

Syddanmark 4-6 Mar; South Denmark Regional Convention; Praestegardsskolen, Esbjerg; www.nasyddanmark.dk
2) 15-17 Apr; Region Denmark Service Works; Skt. Anna Gade Skole, Aarhus; www.naservice.dk

England

Greater Manchester 11-13 Mar; North West England/North Wales Area Convention; Salford University, Manchester; event info: 07960126305

Guatemala

Ciudad Guatemala 5-8 May; Latin American Convention 10 - Zonal Forum; Conquistador Hotel & Conference Center, Ciudad Guatemala; event info: 502.5706.4325

India

Orissa 11-13 Feb; Orissa Area Convention 2; Konark Open Air Auditorium, Konark; event info: 9776096939
Tamil Nadu 7-9 Jan; Chennai Area Convention 3; YMCA Camp Center, Chennai; event info: 919789966664

Mexico

Teotihuacan 14-17 Apr; Mexico Regional Convention 14; www.namexico.org.mx/eventos.htm

Thailand

Phuket 18-20 Feb; Thailand Regional Convention 4; Banthai Beach Resort & Spa, Patong; www.na-thailand.org/index.html

United States

Alabama 14-16 Jan; Central Alabama Area Convention 14; Governor House Hotel & Conference-Quality Inn, Montgomery; www.caanaasc.org/FreeAtLast%20XIV.htm
2) 25-27 Mar; Greater Mobile Area Convention 14; Ashbury Hotel & Suites, Mobile; event info: 251.508.0212; event info: 251.442.8109; speaker tape deadline: 1 Jan; write: Greater Mobile Area; Box 6561; Mobile, Alabama 36606
California 7-9 Jan; TAC Convention 11; Chico Holiday Inn, Chico; www.TAC-Convention.org
2) 14-16 Jan; San Fernando Valley Area Convention 16; Marriott: Burbank Airport Hotel & Convention Center, Burbank; www.nasfv.com
3) 21-23 Jan; Monterey Co/Santa Cruz Area Convention 4; Portola Plaza Hotel, Monterey; www.mbcna.org
4) 11-13 Feb; Central California Regional Convention 19; Crowne Plaza Hotel/Seaside Park, Ventura; www.cccceinc.org/index.html
Connecticut 7-9 Jan; Connecticut Regional Convention 26; The Hilton Stamford, Stamford; www.ctrcna.org
Florida 14-17 Apr; Recovery at Work Group First Cruise; Carnival Cruise Lines, Cape Canaveral; event info: 407.421.6525; speaker tape deadline: 30 Nov; speaker tape info: 407.367.9876
2) 29 Apr-1 May; Daytona Area Convention 12; Hotel Plaza & Resort, Daytona; www.daytonana.org
Georgia 17-20 Feb; Georgia Regional Convention 30; Rainwater Conference Center, Valdosta; www.grscna.com

Hawaii 15-17 Apr; Oahu Area Gathering 27; Camp Mokuleia, Waialua; speaker tape info: 808.351.1996; speaker tape deadline: 30 Nov; www.na-hawaii.org

Idaho 1-3 Apr; Southern Idaho Regional Convention 22; Owyhee Plaza Hotel, Boise; www.sima.org

Illinois 6-9 Jan; Chicagoland Regional Convention 23; Hyatt Regency McCormick Place, Chicago; www.chicagoland.org/events.html
2) 29 Apr-1 May; Rock River Area Convention 20; Clock Tower Resort & Conference Center, Rockford; www.ragsna.org

Indiana 4-6 Mar; Indiana State Convention 18; Hilton Hotel, Fort Wayne; hotel rsvns: 800.445.8667; event info: 260.456.0353

Kansas 1-3 Apr; Mid-America Regional Convention 28; Grand Prairie Hotel & Convention Center, Hutchinson; speaker tape deadline: 21 Nov; speaker tape info: 620.960.2095; www.marscna.net/events.htm

Kentucky 21-23 Jan; Louisville Area Convention; Hyatt Regency, Louisville; event info: 502.594.3743

Maine 18-20 Feb; Maine Area Unityfest Convention; Notre Dame Spiritual Center, Alfred; www.namaine.org

Maryland 15-17 Apr; Chesapeake & Potomac Regional Convention 25; Ocean City Convention Center, Ocean City; event info: 301.420.4404

Massachusetts 15-17 Apr; New England Regional Convention 14; Sturbridge Host Hotel & Convention Center, Sturbridge; speaker tape info: 781.953.4168; speaker tape deadline: 1 Dec; www.nema.org

Minnesota 8-10 Apr; Minnesota Convention 18; Crowne Plaza Riverfront Hotel, Saint Paul; hotel rsvns: 651.292.1900; www.mnnac18.org

Mississippi 29Apr-1 May; Foglifter's Group Campout; Roosevelt State Park, Morton; event info: 601.624.3694; speaker tape info: 601.316.3689; speaker tape deadline: 1 Apr

Missouri 4-6 Feb; Mid-Missouri Area Cabin Fever Prevention Convention; Tan-Tar-A Resort, Osage Beach; www.cabinfeverconvention.org

Nebraska 4-6 Mar; Eastern Nebraska Area Convention 23; La Vista Conference Center, La Vista; event info: 402.676.5972

Nevada 11-13 Mar; North by Northwest Area Las Vegas Dopes on Slopes 81/2; Cedar Breaks Lodge, Brian Head; event info: 702.417.1917

New Jersey 31 Dec-2 Jan; Bergen Area New Year's Eve Convention 17; Hanover Marriot, Whippany; www.newyearnewlife.org

2) 18-20 Feb; Greater Newark Area Convention 6; Teaneck Marriot at Glenpointe, Teaneck; www.nnanj.org

3) 11-13 Mar; Capital Area New Jersey Convention 13; Holiday Inn, East Windsor; event info: 609.209.5920

New Mexico 17-20 Mar; Rio Grande Regional Convention 22; Sage Brush Inn, Taos; www.riograndena.org/RGRCNAXXII

New York 14-16 Jan; Nassau Area Convention 8; Long Island Huntington Hilton, Melville; www.nacna.info

2) 11-13 Feb; Metro Area Habla Hispana Convention 6; Crowne Plaza Hotel, White Plains; www.metroareadehablahispana.com

3) 25-27 Feb; Rochester Area Convention 17; Rochester Plaza Hotel & Conference Center, Rochester; www.rochesterny-na.org

North Carolina 7-9 Jan; Western North Carolina Area Convention 26; Crowne Plaza Resort, Asheville; speaker tape deadline: 15 Dec; write: Western North Carolina Area; Box 16238; Asheville, NC 28816-0238; www.wncana.net

2) 19-20 Feb; Coastal Carolina Regional Convention; Courtyard Marriott, Carolina Beach; event info: 910.297.0334

Ohio 18-20 Feb; Toledo Area Convention 14; Holiday Inn French Quarter, Toledo; www.ohio-na.org

Oklahoma 14-16 Jan; Western Area Norman Winter Convention 21; Embassy Suites Hotel, Norman; <http://nwcwasc.okna.org>

2) 15-17 Apr; Oklahoma Regional Convention 25; Sheraton Inn Reed Convention Center, Mid West City; event info: 405.227.2339
Pennsylvania 11-13 Feb; Mid Atlantic Regional Learning Conference 27; Lancaster Host Hotel, Lancaster; www.mariscna.org/events/index.php
 2) 22-24 Apr; Greater Philadelphia Regional Convention 26; Radisson Hotel/Valley Forge Convention Center, Valley Forge; www.naworks.org
South Carolina 21-23 Jan; Upper South Carolina Area Convention 31; Hyatt Regency Greenville, Greenville; event info: 864.907.1444
 2) 18-20 Feb; Greater Columbia Area Convention Raw 10; Hilton Oceanfront Resort, Hilton Head Island; event info: 803.238.4075
Texas 1-3 Apr; Southeast Texas Area First Convention; MCM Elegante Hotel & Convention Center, Beaumont; speaker tape deadline: 30 Nov; www.setana.org

2) 21-24 Apr; LoneStar Regional Convention 26; DFW Lakes Hilton, Grapevine; www.lsrna.com/office.htm
Utah 11-13 Mar; North by Northwest Area Las Vegas Dopes on Slopes 81/2; Cedar Breaks Lodge, Brian Head; event info: 702.417.1917
 2) 18-20 Mar; Northern Utah Area Convention; Ogden Marriott, Ogden; www.northernutahna.org
Virginia 7-8 Jan; Rappahannock Area Convention 29; Fredericksburg Expo Center, Fredericksburg; event info: 540.287.7908
 2) 11-13 Feb; Circle of Sisters Women's Convention 14; Holiday Inn Select Koger South Conference Center, Richmond; www.circleofsisters.org
 3) 18-20 Feb; Tidewater Area Convention 11; Norfolk Waterside Marriott, Norfolk; event info: 757.735.7615
Washington 10-13 Mar; Clean & Free By the Sea 28; Ocean Shores Convention Center, Ocean Shores; www.wnir-na.org

WCNA 34

San Diego, California, USA

1-4 September 2011

In the Spirit of Unity

Call for Speakers & Evaluators

We're seeking workshop (minimum five years clean) and main speakers (minimum ten years clean) for WCNA 34, and members to help evaluate potential speakers (minimum five years clean). For more information, please visit

www.na.org/wcna34
www.na.org/subscribe

Deadline to volunteer as speaker evaluator is 28 Feb 2011

Deadline to submit potential speaker names is 31 Mar 2011

「ゼ・カルディンホ」は、ポルトガルのNAが『セレンディディド(落ち着き)』というタイトルで発行しているニュースレターの連載コミックだ。「ゼ・カルディンホ」というのは、回復しつつもまだ頭が混乱しているアディクトにつけられたニックネーム。かっこつけて、正直なふりをし、おもしろい人物とみせかけて、イヤミな性格が「影」のようにつきまとい、皮肉なツッコミを入れる。NA Wayには、2010年10月号に登場した。

ポルトガルのリカバリー ニュースレター No.86 『セレンディディド』の許可を得て転載



お金の問題： NAの経済的自立

私たちの未来像、そして他ならぬNAグループの第一の目的。どちらも、NAがスピリチュアルな面でめざしていることであり、その実現のためにNAのサービスシステムが頼りにしているものがある。それは、NAでアディクションから自由になったことで、自らの責任に目覚め、充実した日々を送っているメンバーたちからの献金と、アディクトたちの

励みになる回復の雰囲気をかもしだすことで成長を遂げ、よく活動しているグループからの献金である。つまり、経済的に自立するようになるということは、単に自分たちのグループやエリアを支えればよいというものではないのだ。NAの経済的自立とは、NAのサービスシステムに資源を提供するということでもある。それによって、まだNAのことを知らないでいるアディクトたちに手をさしのべることができるようになり、今だにミーティングが1つもない地域にもNAの回復のメッセージが届くようになるからだ。このような課題は必ずしも簡単に費用をかけないで実行できるというものではないが、それでも私たちはNAで回復したのだから、ベストを尽くさないわけにはいかないのだ。

人、アイデア、お金は、私たちが努力するうえでなくてはならないものだ。この3つがそろっていれば必ず、どの国のアディクトにも、使わないという生き方があることを知ってもらえるようになる。2008年のカンファレンスから2010年のカンファレンスまで、この2年間に取り組むべきプロジェクトのひとつには、経済的な自立に関するパンフレット類の改訂があった。これは、私たちの多くがNAで回復したばかりのころにしていたやり方で、今もなおNAに貢献しているという事実を目を向けやすくするための。それはつまり、私たちがひとりのNAメンバーとして献金すること、それによってNAのサービスに支払うという目的で使われる資金の流れをつくることである。だが現実には、献金箱に入れられるお金は、かつてほどの額にはとてもおよばないし、安定もしくは信頼できる献金の流れもいまだかつてNAのサービスシステムに提供されることはなかった。「私たちが回復して得たものが多ければ多いほど、今苦しんでいるアディクトのために徐々に流れ落ち、NA全体の利益になる」という資金の流れは、理想にすぎないのだろうか。

それでも、2010年のWSC(ワールドサービスカンファレンス)での承認を受けて、『IP # 24 マネーマターズ：セルフサポートイン NA(お金の問題「NAの経済的自立」)』と『IP # 28 ファンディング NAサービス(NAのサービスに資金を提供する)』という2種類のパンフレットが新たに出版された。これによって、ひとりのNAメンバーとして献金することと、NAでの資金の流れをつくることの重要性について、NA全体に自覚が芽生えることを願ってやまない。経済的な困難がつづく今だからこそ、この2種類のパンフレットはものをいう。これを読んで、「私たちは自分たちの与えられるものを与える。NAという仲間の集まりも、ひとりひとりのメンバーの回復も、それにかかっているからだ」ということを、どうか真剣に考えていただきたい。

私たちが心をひとつにすれば、絶体絶命とも言えるような逆境にも打ち勝つことができる。これはれっきとした事実であり、私たちひとりひとりの回復とNA全体での経験によって証明済みのことになっている。私たちが一致団結して努力しながらさまざまな資源を活用すれば、世界中のアディクトがみんな、自分の話す言語やなじみのある表現で

NAのメッセージを読む機会に恵まれ、新しい生き方をしていくきっかけをつかむことができるようになる。そうやって私たちは自由を手にするというNAで約束された未来をこれからも共有していくことができるのだ。



NAWS PRODUCT UPDATE

Brazilian

Membership Survey

Pesquisa de participação de membros

Item No. ZPRBR1001 Price US \$0.25



Spanish

Basic Text Sixth Edition

Narcóticos Anónimos

Item No. CS-1102 Price US \$11.00

Commemorative Basic Text Sixth Edition

Celebrate the 20th anniversary of the Spanish Basic Text, with same design as the English version commemorating the 25th Anniversary of the Basic Text.

Item No. CS-1103 Price US \$25.00



IP #24: *El dinero importa: mantenernos con los propios recursos en NA*

Item No. CS-3124 Price US \$0.48

IP #28: *La financiación de los servicios de NA*

Item No. CS-3128 Price US \$0.32

IP #26: *Acceso para aquellos que tienen necesidades adicionales*

Item No. CS-3128 Price US \$0.28

Principles and Leadership in NA
Los principios y el liderazgo en el servicio de NA

Item No. CS-2208 Price US \$0.28

Croatian

IP #6: *Oporavak i recidiv*

Item No. CR-3108 Price US \$0.21

IP #23: *Kako ostati čist vani*

Item No. CR-3123 Price US \$0.21

Danish

IP #2: *Gruppen*

Item No. DK-3102 Price US \$0.26



IP #13: *Af unge addicts til unge addicts*

Item No. DK-3113 Price US \$0.26

IP #20: *Hospitals- & institutionservice og NA-medlemmer*

Item No. DK-3120 Price US \$0.21

Hindi

It Works: How & Why

यह काम करता है कैसे और क्यों

Item No. HI-1140 Price US \$7.70

Latvian

IP #7: *Vai es esmu atkarīgais?*

Item No. LV-3107 Price US \$0.21

IP #8: *Tikai šodien*

Item No. LV-3108 Price US \$0.21

Norwegian

Principles and Leadership in NA
Prinsipper og Lederskap i Nas Servicestruktur

Item No. NR-2208 Price US \$0.28

Portuguese

NA Groups & Medication

Os grupos de NA e a medicação

Item No. PO-2205 Price US \$0.28

Punjabi

IP #1: *ਕੌਣ, ਕੀ, ਕਿਵੇਂ ਅਤੇ ਕਿਉਂ*

Item No. PA-3101 Price US \$0.21



Turkish

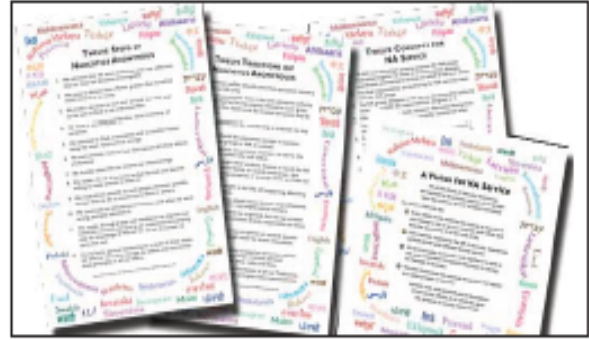
NA White Booklet
Adsız Narkotik

Item No. TU-1500 Price US \$0.63



Color Posters and Banners

For your display at recovery and service meetings and events, these full-color posters feature a multi-color border representing the languages of NA. Printed on vinyl banner stock, with or without hanging grommets, in a variety of sizes. Available in Twelve Steps, Traditions, and Concepts; A Vision for NA Service; World Regional Meeting Map, and Literature Timeline. See full product/price listings at www.na.org/?ID=catalog-products



Coming soon

For release dates please check our online Product Catalog:
www.na.org/?ID=catalog-products



It Works: How and Why in Special and Gift Editions

Featuring an iridescent green and gold cover with a debossed NA logo, and complementary gift-box sheath. Only 2,500 copies of the hand-numbered Special Edition will be published, which will also feature foil embossing and a deluxe debossed sheath.

Item No. 1141 (Special) Price US \$25.00
 Item No. 1142 (Gift) Price US \$15.75

Norwegian

Just for Today

Bare for i dag

Item No. NR-1112 Price US \$7.70



Statement of Ownership, Management, and Circulation

The NA Way Magazine (ISSN 1046-5421) is published quarterly. There is no subscription charge for this publication. The office of publication is at 19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311. Mailing address is PO Box 9999, Van Nuys, CA 91409. The editor is De Jenkins. The NA Way Magazine is owned by NAWM, Inc., a nonprofit corporation, and there are no other bondholders, mortgagees, or security holders. The status of this corporation has not changed during the twelve months preceding this filing.

Extent and nature of circulation	Average no. of copies in preceding 12 months	Actual no. of copies as of 1 Oct 2010
Total printed copies	36,563	35,500
Requested subscription—outside county	35,972	34,792
Requested subscription—in-county	0	0
Total requested subscription	35,972	34,792
Total free or nominal rate distribution	140	175
Total distribution	36,112	34,967
Copies not distributed (office uses)	451	533
Total	36,563	35,500
Percent requested circulation	99.6%	99.5%

Certified, correct, complete

